

お知らせ

資料提供
三次記者クラブ



国土を整え、全力で備える
中国地方整備局
三次河川国道事務所
Miyoshi office of River and National Highway

平成 26 年 11 月 7 日

県内自治体職員と共に橋梁の維持管理について学びます。

三次河川国道事務所では、橋梁等の道路構造物について、損傷・劣化等を把握するために定期的な点検を実施し保全を図っています。

この度、三次市内の橋梁（国、県、市管理）を現地研修フィールドとして、橋梁の老朽化の現状や対策等について行政職員の知見を広げ橋梁の保全技術を向上させるため、県内自治体職員及び国土交通省職員（約50名）が参加する**老朽化橋梁現地研修会**を実施します。

なお、本研修会は広島県内の道路施設の維持管理・補修・更新等を計画的・効率的に行なうために設立された「広島県道路メンテナンス会議」による技術支援の一つとなっています。

～実施内容～

[実施日時] 平成26年11月12日(水) 13:15～16:30(予定)
※雨天決行（異常気象で中止する場合があります）
13:15～ 室内研修会（広島県北部建設事務所会議室）
14:15～ 現地研修会（寿橋ほか、三次市内の橋梁）
（詳細は別紙のとおり）

[集合場所] 広島県北部建設事務所（三次市十日市東4丁目6-1） 会議室

[取材に関して]

- ・ 服装は作業服、ヘルメット（※多少の用意をしていますが、基本的には持参願います。）を着用してしてください。
- ・ 現場は危険な箇所がありますので、現場の職員の指示に従って行動してください。
- ・ 取材の申し入れは、事前に【担当】道路管理課長 西岡までご連絡をお願いします。

● 問い合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所
副所長（道路担当） 田中 敏彦（たなか としひこ）
【担当】道路管理課長 西岡 寿雄（にしおか ひさお）
【広報担当】調査設計課長 守山 和彦（もりやま かずひこ）
HPアドレス：<http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/>
TEL：(0824) 63 - 4121（代表）

老朽化橋梁現地研修会について

1. 開催主旨

高度成長期に集中的に整備された多くの橋梁やトンネルなどの道路施設は、高齢化が急速に進むことが確実なことから、今後補修や更新を行なう必要が急激に高まってくる事が予想され、厳しい財政状況にある中、いかに的確に対応していくかが課題となっています。

そのためには、管理する道路施設について定期点検等により道路施設の状態を的確に把握し、その点検結果に基づく早期発見・早期補修の予防保全の取り組みを進めることが重要です。

そこで、橋梁等の維持管理業務に携わる中国地方整備局や県内自治体の職員を対象として、橋梁の老朽化の現状や対策等について知見を広げ、橋梁保全に関する意識の高揚を図るため老朽化橋梁現地実習研修会を開催することとしましたので、お知らせします。

なお、本研修会は広島県内の道路施設の維持管理・補修・更新等を計画的・効率的に行なうために設立された「**広島県道路メンテナンス会議**」による技術支援の一つとなっています。

2. 実施日程及び集合場所

集合場所：三次市十日市東4丁目6-1

広島県北部建設事務所会議室(室内研修会会場(下図参照))

現地研修：寿橋ほか、三次市内の橋梁



3. スケジュール(予定)

13:15～室内研修会(資料による説明)

14:15～現地研修会

16:15～意見交換会(現地にて)

16:30 現地解散

ことぶき
(参考) 寿橋 諸元

架設年：昭和43年(1968年)45年経過、橋梁形式：単純鋼合成板桁橋4連
橋長：177m、幅員：9.3m

平面図

側面図

標準断面図